

新 童

【今月の言葉】子供たちが集立つ季節になった。国は四月から子供手当を出す。(中学まで月一万三千元)六月から支給される。次世代を担う子を社会全体で支えるため、親または監護する人へのサポートとして支給する?のだそうだ。過去、どの親も、わが子のために働き、学校に通わせ、わが子を社会に送りだしてきた。親としての苦労は当たり前として頑張った。しかし少子化のもと、新しい価値観が生活に根付こうとしている。この新しい生活様式でどんな子が育つのかな。

【文/表紙 遠藤節子】



【絶対の基本理念】 最終目標である「親亡き後の施設」建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

- 無私 (私が、私がないこと)
- 愛 (大切に作る心、思いやる心)
- 内省 (深く自分をかえりみること)

4

月号

2010年4月15日発行
VOL.12 NO.4
(通巻114)

平成22年度入所式、新年度スタート

TSK

おりいぶ人



社会福祉法人 ^{あいとく} 愛篤福祉会・^{おりいぶ} 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp



空腹の腹案

遠藤節子 (工房阿列布管理者)

春が来た♪山に里に♪桜はたわわでその色は自然の景色の中でも一際目立つ。何と魅力的な木よ花よ。季節は裏切ることなく、同じ作業の繰り返しをし、人を安泰にさせている。

何年もこのような日本の景色を見て、美しい、綺麗な、平和だと思って生きてきた。

しかし、それを壊すのも変えてゆくのも人の生業であった。

あまり旅を好まず、出づ嫌いの私だが、近頃、旅をしたいと思うようになった。動機の1つに最近、この目で見ようか沖縄を、この耳で聞こうか「爆音」をと思うようになった。体感なき生活は、いつの間にか平和ボケしてしまっ。戦後の人間には、戦争がどんなものか画面、紙面上でしか知らないのが、臨場感もない。米軍普天間飛行場の県外移設は本当にできるのか、普天間、辺野古、これらの問題がクローズアップされたのは政権交代前の民主党のマニフェストだった。しかし、総理の決断がみえない。このイラ立ちの中、沖縄県民に卵や靴を投げられないだけ

まだいい。

どこかの国のように街が暴動化したということもなく、今は有るか無きかの5月末の「総理の腹案」を待っている。

しかし、一連の流れの中で、ふっと思うことがある。沖縄は鳩山総理に約束の履行を求め、思いや怒りぶつけているが、その矛先はもう1つ、日本国民に対してではないだろうか？

「私たち沖縄県民は、国民「日本人」の安全を守るために65年もの間、かつての敵国を再び受け入れ、また基地として沖縄は戦争の恐怖も味わい、トラウマが残っている。しかし、爆音、事故、殺人、暴行などに耐えて今なお日本を守っているではないか！」と言いたいのだろう。

国民の声は批判ばかりのように聞こえるが、総理もその真意を解って沖縄の基地負担軽減、そして分担を言葉にして誓ったと思う。しかし一国のリーダーのマニフェストの掲示の履行は一諾千金なのだ。

見上げれば、カラス、雀が飛び交う青い空、白い雲。願わくばこの安泰を沖縄に…。

TSK
おりいぶ人
1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布
発行所 〒981-0907
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

平成22年度 入所式



四月一日に工房阿列布の食堂において、役員・評議員の皆さまのご参加を頂き、平成二十二年の入所式が執り行われました。

り総勢三十八名の利用者になりました。引き続き、作業配属の辞令交付が行われ、職員二十七名も含め、緊張の面持ちでの新たなスタートとなりました。

花見会



四月十九日、新しく入所した二名の方も参加し、小名浜三崎公園にお花見に出掛けました。



今回は、好間町の「とんかつみもの」特製のとんかつバーガーとトンむすセットを昼食に選びました。



利用者の皆さんは、花より団子、満開の桜の下で早速お昼を食べていました。とても美味しかったと大変好評でした。

障害者自立支援法改正

障害者自立支援法を廃止し新たな法律を作るとしている民主党政府は、その第一歩として、福祉施設の利用料について四月一日より原則無料化すると発表しました。



これまで阿列布などの福祉施設を利用するにはサービス料の一割を負担(上限額一五〇〇円)する必要がありましたが四月以降は一部の方を除いて無料となります。

農作業、本格始動



四月になり気温も暖かな日が続くようになり、阿列布の農業班でも本格的に農作業が始まりました。この日はボランティアの太田幸夫さん、高萩俊之さんに耕して頂いた畑に、ジャガイモの種を蒔きました。



建設資金に寄附を頂きました

平で不動産業を中心に営業している石井企画(株)の社員の皆さまから建設資金に使って頂きたいと浄財を頂きました。平成十六年に法人施設としてスタートして以来、毎年浄財を頂いております。誠にありがとうございます

総会案内

おりいぶ後援会

平成二十一年度の総会を左記の日程にて行います。皆様のご参加をよろしくお願い致します。

日時：平成二十二年五月二日(日)
午前一〇時～正午

場所：総合保健福祉センター
多目的ホール

正しいラジオ体操をご存知ですか



久しぶりに暖かくなったこの日、圓谷裕一理事によるラジオ体操教室が開かれました。圓谷さんはラジオ体操が出来た当時、普及のために福島県内を指導するために駆け回った経歴の持ち主です。

体を動かすポイント、どの筋肉を使っているのかを指導していただきました。



寄附者名簿 (物品寄附含む) 平成22年4月

小林誠子様、高橋智紀様、吉田京子様、鈴木美智子様、茂崎勝子様、草野牧子様、大和田記子様、石井企画(株)社員一同様